

現代の商業施設とアートの融合

～百貨店の美術展覧会とショッピングモールのアート活用による機能戦略～

河田 莉奈

【要旨】

商業施設はアートにどのような効果を期待しているのだろうか。本稿では開業初期より美術展覧会や文化的な催事を行ってきた百貨店に加え、現代的なショッピングモールやファッション複合ビルを調査対象とした。百貨店に注目した先行研究では美術展覧会が集客や高級感の演出にとって理想的な手立てであったとして、その効果を明らかにしている。催事場のシャワー効果による全館的な販売促進についても研究が進んでいるが、現代的な複合型商業施設で開催されるアートの企画展がもたらす効果についての研究は少ない。

本稿では現代的な商業施設の事例をもとに効果を調査した。結果、集客や広告宣伝の効果を得るだけでなく、文化発信地として一般にアートに触れる空間を提供していることがわかった。しかし、商業施設が作品やアーティストにもたらす効果や利益には疑問が残る。今後は商業施設がどのようにアートとアーティストの活動に貢献すべきか検討が望まれる。

【講評】

百貨店におけるアートに関する論文、著書、インターネットの情報を調査し、先行研究を参考にしながら、論文執筆を進めている。特にそれを新たな進化を続ける商業施設(ショッピングモールなど)にあてはめ、アートを取り入れることの効果とその課題を考察した。顧客獲得などの検証が不足していたり、著者自身の独自調査が示されていないなど、課題は存在する。しかし、自ら多くの事例を調べ、その内容をまとめあげた点を論文として評価した。